さだ公民館だより

令和７年６月２３日 111 号　編集・発行　佐田地区公民館　電話：４４―０３１２

佐田べっぴんクラブ躍動

５月２１日（火）中津のダイハツ九州アリーナで、「**体操フェスティバルだれでんかれでん‼２０２５**」が開催された。県北地区を中心に遠くは関西からの参加もあり多くのチームが参加しました。「佐田べっぴんクラブ」は毎月２回佐田地区公民館で体操教室を行っているチームです。大会当日は日ごろの成果を発揮する絶好のステージとなりました。

出場チームの中でも満面の笑顔で楽しそうに、ハッスルし輝いていたのは「佐田べっぴんクラブ」でした。

俳　句　教　室

令和七年五月　第四〇七号
佐田句会　五月二十日　参加者七名
兼題　柿若葉　風薫る　柏餅
松本公節　選評

○ **竹林の今日は静かな五月晴**　まさ子
（評）「竹林」は風と音を楽しむ仕掛けで、立派な写生句。

○ **鈴鳴らす手甲脚絆に風薫る**　博子
（評）新入生の作者、大歓迎ですよ。頑張りましょう。「手甲脚絆」独特の措辞で成功。

○ **柏餅小さくなったと手を伸ばす**　彰裕
（評）今回の兼題柏餅はなじまれているせいか、佳い句が目立ちました。

○ **柿若葉どこからも見ゆ農暮し**　義彦
（評）柿若葉と「農暮らし」の取り合わせが佳かった。

○ **弟はやんちゃ盛りよ柏餅**　二三華
（評）「弟はやんちゃ」ですね。

○ **風薫る挨拶元気一年生**　美佐子
（評）作者らしい微笑ましい佳い句。

選者吟　葉ずれ音して薫風の走りくる

次回、佐田句会は
六月十七日佐田公民館
兼題は　ほととぎす　更衣　です

「正しく知ることの大切さ（部落差別問題）」

「打ち明ける勇気、受け止める勇気」　　宇佐両院指導員人権学習会より

人権・部落問題は、今もなお根強く残っています。（ある大学生の手記）

母が私に言いました。「部落差別とか聞いたことある」私は道徳の授業で学習した「えた・ひにん」という人たちが存在したことや、それにより今も差別を受けている人たちが沢山いることを学んだと母に話しました。すると、母は涙ぐみながら、私が住んでいるこの土地が被差別部落であることを説明してくれました。母も、２歳年上の姉も結婚したい相手がいたそうですが、部落出身であるという理由から親せき中から結婚を反対されたそうです。母は、私にこう言いました。「自分が部落の出身者だということは、今後人に言う必要はないし、だからといって、下を向いて歩く必要もない。堂々と胸を張って生きればいい。」この言葉は私の心の中に強く残っています。母はあえて人に言う必要はないと言いましたが、私はどうしても納得できませんでした。そこで私は交際して２年になる彼にカミングアウトすることを決意しました。話す前は、本当に勇気が必要でした。これを言ってしまったら、母や姉のように結婚することもできなくなり、今の関係が壊れるかもしれないと思うと、悲しさのあまり涙が出てきました。そして、泣きながら話す私の話を彼は黙って聞いていました。話し終わると、彼が一言「話してくれてありがとう。でも本当は知ってたんだよ。」と言いました。理由は、彼の両親が、私たちが交際し初めの頃彼に話したそうです、今後付き合っていく中で、私の住んでいる土地が被差別部落だということを知り、そのせいで別れたりするような心の狭い差別意識を持った人間にだけは育ってほしくないと思い、彼に話したそうです。私は彼からその話を聞き、今度は嬉しくて涙があふれました。そして、人権や差別に対してきちんとした考えを持っている彼の両親に、本当に感謝しました。彼の両親が前もって彼にきちんとした人権教育をしていたからこそ、今のこの関係があるように思います。差別は繰り返されます。親から子へ受けつがれてしまうのです。だからこそ、私も将来自分の子供が生まれたらこのような問題に直面する前に、しっかりと教育したいと思います。世の中にもっと、人権・部落差別問題にきちんとした教育を受けた人たちが増えれば、部落問題はなくせると思います。そのためにも、小さい頃から、中途半端でなく、きちんとした人権教育が必要だと思います。私もこれらの問題にすこしでも協力できるように、まずはしっかり自分が勉強していこうと思っています。

【佐田公民館瓦版】

★６月１１日に、東シナ海で台風第１号が発生したそうです。これは観測史上５番目に遅い記録らしいです。今年の台風はどうなることやら、穏やかな毎日が続くと良いのだが。災害に備えての準備や対策も必要ですね。

★６月２１日は夏至です。１年で最も昼間が長い日になります。太陽からの光線も最大のパワーを発するためエネルギーを吸収し免疫力を高め体力を付けておくことが大切です。この日を境に本格的な夏が始まる合図の日でもあります。夏バテに負けないためにも、旬の食材を美味しく食べて暑い夏を乗り切りましょう。今年の夏至以降は、地球上が変化していくとも言われています。小競り合いとか、損得を抜きにして、平和な世界になることを願っています。

★７月７日は、七夕です。１年に１度織姫と彦星が会える伝統行事です。七夕は７月７日の夕方を意味し、願い事を書いた短冊を笹に吊るす日として、知られています。さて、今年はどんな願い事を書こうかな。天の川見れるかな？

佐田公民館だより QR コード
スマホからカラーで閲覧できます。